週刊102号

発行日: 2019年 7月

編集・発行/あびこ浩子

茨木市議会議員(無所属)

あびこ浩子 ゆめ・みらい通信

連絡先: 茨木市紫明園10-74-405 (あびこ浩子事務所)

Facebook: あびこ浩子 | WEBサイト: http://www.hiroko-abiko.jp





参議院選挙が終わりました 各地区のふるさと祭りのシーズンです!



みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

参議院議員選挙が終わりました。選挙区が広くなかなか候補者に会う 機会もない選挙戦でしたが、テレビや新聞の選挙結果報道で刻々と発表 されていく結果を聞きながら、私たちの望む民意はどのようなものなの かを関心をもってみておりました。投票率は50%を割ったとの報道 に、投票に行かれない方が多かったのがわかりました。一票では政治は 変わらないという思いなのか、また、生活の中で政治が遠い存在だとい うことなのかとも思います。私も子育てに追われ、日々を回すのに精 いっぱいだった頃、政治は遠い存在でした。しかし、求める子育て支援 や子ども達の育つ環境などは政治の場で声をあげて変えていくしかない と気が付きました。少子化や虐待・待機児童問題など安心して子育てで きる社会にするためには子育て家庭を支える必要があり、経済的支援も 必要なのです。老後に「2000万円必要」という政府の発表に愕然とした 方々も多かったことでしょう。「さもありなん」と思われた方も多かっ たかもしれません。若い方は「やっぱり年金はあてにならない」という ことを再確認した気持ちになられたかもしれません。働いて年を重ねて も老後の不安なく普通に暮らせる社会であるべきです!まじめに働いて 暮らしていることが報われる社会であるようにと強く思います。 今回障 害者の方が当選されたことで、障害があっても安心して暮らせる仕組み を作っていくことが国会で議論されることでしょう。それはつまりは、 障害や病気や様々な事情で働くこと、収入を得ることが難しい状況で あっても暮らしていける社会になるようにみんなで考えていく第一歩に なるのではないかと思っています。孤立しないこと、助けを求められる こと、そんな温かい地域になるようにと改めて強く感じています。※ 「葬式の名人」試写会で前田敦子さん高良健吾さん見ました!顔が小さ



季日丘地区ふるさと祭りにて

.

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業/1980大阪府立千里高校卒業/1984関西大学文学部卒業/2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了/大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭/1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職/2000沢池幼稚園PTA会長/2002穂積小PTA会長/2006茨木市PTA協議会会長/2004NPO法人ChachaーHouse代表理事/2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長/2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事/2011穂積地区自主防災会会長/2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当 選/2009・1選挙2期目当選/2013・1 選挙3期目当選/2017・1選挙4期目当選
- ◆穂積地区 在住

い! 可愛い!

Page 2

あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(655)8460(留守時

はメッセージをお願いいたします。)

Email: contact@hiroko-abiko.jp 茨木市紫明園10-74-405

HP: http://www.hiroko-abiko.jp

FACEBOOKページ

「あびこ浩子(茨木市議会議員)」 「あびこ浩子 茨木ゆめ・みらい工房」

Twitter @abiko_h (あびこ浩子(茨木市議会議員)



熊本・鹿児島に

会派視察に行ってきました(1日目)

7月22日23日の2日間、熊本市と鹿児島市に会派(いばらき未来の会)で視察に行ってきました。

1日目の熊本市では、公共交通の空白地域の移動手段 をどう提供するかという課題に対応するため、熊本市 公共交通基本条例に基づいた取り組みについて、学ば せて頂きました。地域で乗合タクシーを走らせ、一番 近いバス停まで送迎するというものです。運賃は、中 学生以上が200円、小学生までが100円で、差額を市 が負担しています。電話で何時のバスに乗るからと予 約してもらい、近所の乗合タクシーステーションで乗 車します。タクシー利用だと片道2000円から3000 円かかる道のりを負担軽減をして利用して貰う仕組み です。タクシー会社には利用増のメリットがあり、バ ス会社にも利用者増のリットがあります。熊本市では 空白地域をバス停まで1キロ以上と定めています。 茨木 市で考えてみると、特に買い物支援などの要望の多い 山間部や、山手台地域では1キロとすると当てはまらな い方が多く出るのではないかと考えてしまいました。 地形の高低差は配慮されていませんので、坂道のアッ プダウンや、荷物を抱えて坂道を上がれないなどの事 情は、反映されていません。茨木市に置き換えて考え たときに、どんな方法が良いのか、考えていかねばな りません。条例があれば支援策を講じなけれならな いと縛りが出てくるので、免許を返納して、外出支 援を必要とされる方などにきちんと予算化して支援 策を届けられる利点があります。茨木市い於いて使 い勝手の良い支援策を具体的にまとめていきたいと 会派で話し合っています。

お互いさまと思える茨木に! 生活者の視点を政治に!



元市民会館・暫定広場解体後の暫定広場活用ワークショップが開催されました

現在、進めている元市民会館の解体工事は、令和2年3 月頃に完了する予定です。その後、一定の整備を行い、令和2年秋ごろから、福祉文化会館の解体工事が始まる令和5年度末頃までを期間として、暫定的な広場として利用できるようにしたいと考えています。

そこで、令和元年7月15日(月・祝)に、次なる茨木・クラウドプロジェクトの一環として、「暫定広場」の活用について検討するワークショップが開催されました。暫定広場で、「どんなことがしたいか」、「どんなものがあれば良いか」などをテーマとして、活発なご議論をいただいており、ここで出された意見については、暫定広場の設計等に反映していく予定です。



2019年度	事業者募集、選定、元市民会館解体
2020年度	設計
2021~22年度	第1期エリア工事
2023年度	第1期エリア完成・開館・福文解体
2024年度	福文解体・第2期エリアエ事

| ましたら幸いです。お声をかけていただけたらとても嬉しいです!